

一般型

金属屋根用断熱材自動貼付装置を導入し 内製化で収益向上

金属屋根は、鋼板に断熱材を貼り合せたものが普及し、需要が増加傾向にある。しかし、弊社工場の建屋が短く、一貫生産ラインが設置できなかった。今回、建屋を確保して一貫生産ラインを設置し、コスト低減、短納期化を実現し、顧客満足の上昇を図った。



金属屋根一貫生産ライン



PURPOSE

事業目的

金属屋根材は当社取扱商品ラインアップにおいて、不可欠なものである。しかし、建屋の制約で内製化できず、成型加工を外注に依存していた。顧客を維持拡大していくためには、一貫生産ラインを設置し、低価格化と柔軟な納期対応を可能にして競争優位を確立することが必須条件であった。

MOTIVES

製品開発のきっかけ

◆一貫生産ラインの導入課題

(1)ライン設置の建屋の確保

この度、永年にわたる交渉の結果、隣接する工場・建屋を取得することができた。ラインに必要な長さ40mが確保できたので、内製化の検討に入った。

(2)断熱材自動貼付装置の導入

加工ラインの構成設備の要求仕様

ア)断熱材をムラなく接着

イ)ライン速度10m/分以上

ウ)極力自動化設備であること

TARGET

製品開発の目標

◆ライン導入の目標

(1)ライン本格稼働開始 H29年10月

(2)納期短縮 7~10日 ⇒3日

(3)製造コスト削減 (単位:千円/トン)

※10m品40枚(1トン)当たりを想定

現状 改善後

加工費 25 ⇒ 12

輸送費 180 ⇒ 90

(4)金属屋根・外壁材売上(単位:百万円)

2017年 100 ⇒ 2020年 150

DETAIL

製品開発の内容

- (1) 外注業者頼みの成形工程を内製化
カバールーフやまなみ1型、ルーフデッキ88、外壁角波750、上記3種類の成形工程設備を含む一貫生産ラインを設置する。
- (2) 一貫生産ラインの設備導入
断熱材貼付、裁断、成形、自動パイラーが一直線に並んでいる一貫生産ラインを設置し、短納期・低コストを実現する。
- (3) 断熱材自動貼付装置の技術課題の解決
幅広の鋼板に10m/分の速さでも品質問題なく貼付加工する。



SK角波750



エパールーフ®やまなみ1型



ルーフデッキ88



断熱材自動貼付装置
成形製品と断熱材自動貼付装置

RESULT

本事業の成果

- (1) 納期短縮 目標の3日以内を達成した。
- (2) コスト削減 加工費と輸送費の目標を達成した。
- (3) 売上拡大
2020年度目標1億5千万円、2018年度1億2千万円の目標に対して1億1千万円の見込みである。
- (4) 技術課題の解決状況
断熱材貼付工程で、気温の変化等に対して品質を安定させるため、技術条件の標準化を図っている。
また、従業員のスキルアップと技能構築・継承のための作業マニュアルを整備中である。

PROSPECT

今後の展望

今回の導入設備は、広島市中心部の同業他社にはないので、差別化を図ることができる。したがって、短納期、低コストを施工業者、建設会社、同業他社にPRすることで、新規顧客を開拓し、売上を伸ばすことができる。

また、弊社は、建築工事および屋根工事業の広島県知事認可を取得しており、自社製品材料を使っでの工事受注の拡大を図る。金属屋根材の受注拡大により、関連部品の受注も拡大する相乗効果も期待できる。



KEY POINT

ココがポイント！

成形工程の内製化と断熱材貼付装置の導入で一貫生産ラインを広島市中心部で初めて構築。
短納期化とコスト低減を同時に実現。



成形工程の内製化



自動パイラー（搬出用受け台）

CORPORATE DATA

事業者概要

佐々木金属工業株式会社



住所：広島市中区光南5-2-39
電話番号：082-241-4449
URL：http://sasakimetal.com/

代表者名 佐々木 優子
設立 昭和26年3月
資本金 1,000万円
従業員 17人
事業内容 金属製品製造業、屋根工事業



代表取締役
佐々木 優子

更なる成長へ向けて

このような企業様からのご連絡をお待ちしています

弊社は、本補助金を活用することにより、これまで外注依存していた成形工程と断熱材貼付装置の一貫生産ラインができました。これにより、断熱材を貼りつけた金属屋根製品を短納期で且つ低価格での供給が可能となりました。

建物の暑熱対策や省エネ対策をご検討されている企業様是非右記連絡先までお知らせください。また、建設工事や改修工事の業者様への提供も可能ですので、ご連絡お待ちしております。